

庇腕木受け金物

HU-206特許登録済
特許 第7174387号在来工法対応
横架材・柱に使用可

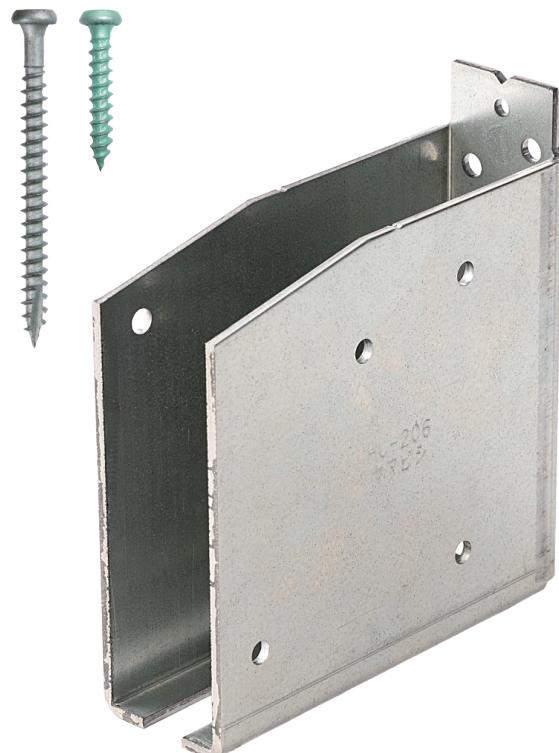
用途 | ● 庇腕木を金物で受ける時に使用します。

特徴

- 面材を切欠かずに庇腕木をたて枠に接合できます。
- ハウスプラス確認検査(株)で強度試験を行い耐力を確認しています。

注意

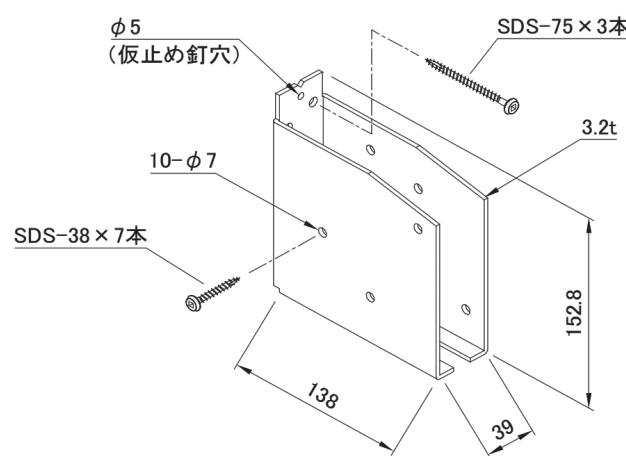
- 必ず MD ピス(腕木 … SDS-38×7本、たて枠 … SDS-75×3本)で接合してください。
- 庇の出はスパン表に従って設計してください。
腕木条件 : 206 材以上、3 本以上、ピッチ 455mm 以下 (たて枠間に下地を入れる場合は、2 枚合わせしてください。)
屋根仕上げ材 : 鋼板、スレート、瓦等



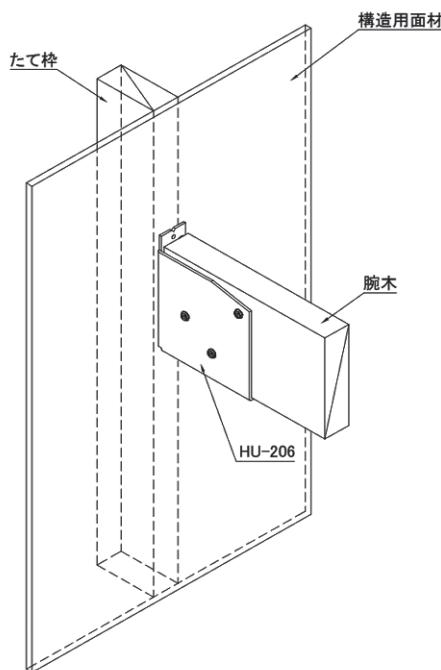
金物情報

材質	JIS G 3302 SGHCまたはSGCC
表面処理	Z27
試験機関	ハウスプラス確認検査(株) 受付番号 : HP20-KT086
耐力	回転剛性 (1/100radK) : 51.7 kN·m/rad (50%下限値) (腕木、たて枠 … SPF製材)
入数	10セット
付属品 (1セットあたり)	MDピス SDS-38 … 7本 MDピス SDS-75 … 3本

金物図



取付図

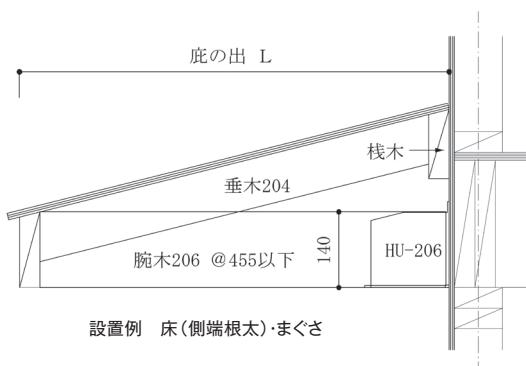
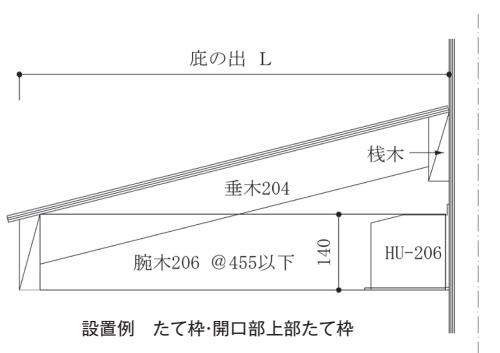


庇の出スパン表

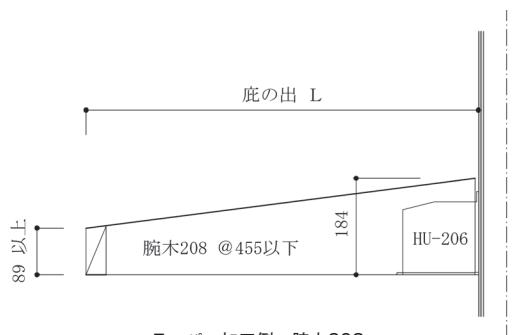
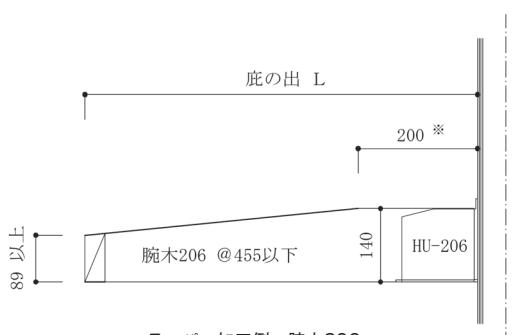
積雪区分		最大庇の出	
		腕木：206	腕木：206 ※テーパー加工有
一般地	60cm以下	900mm	750mm
	90cm	800mm	700mm
多雪地	1m	650mm	550mm
	1.5m	500mm	450mm

※多雪地では、1階の庇のみ使用可。
※テーパー加工は、腕木根元から200mmは除き、先端は89mm以上としてください。

設置例



テーパー加工例



施工事例



商品ページ
はこちら



取付図は
こちら

